

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
カルチュラルスタディーズ											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	鈴木大樹			実務 経験	有	職種	V F Xアーティスト				
授業概要											
アニメやマンガ、イラストなどを主題に考察し、論理的思考力を養います。											
到達目標											
創作という行為が社会で一体どのような広がりの中にあり、どのような多様な活動の可能性があるのか、様々な作品の鑑賞を通じて理解する。また、作品に対する研究や考察を実施した上で、自信の作品制作に生かすことがさらなる目標となる。											
授業方法											
様々なジャンルの作品やクリエイターを主題に、その作家性や制作背景について研究する。また、作品についての議論や討論、レポートなどを実施する。											
成績評価方法											
授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業の構造上、重要な点は毎回授業のいちばん最初に説明するので遅刻や欠席には十分注意する。各回で主題になる作品は状況によって予告なく変更になる場合がある。また、同様の理由で実施回を組み替える場合もある。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第 1 回	映画作品などのキャラクター研究①										
第 2 回	映画作品などのキャラクター研究②										
第 3 回	非現実世界の視覚化について										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
カルチュラルスタディーズ	
第4回	S F 作品の歴史や変化について
第5回	ミュージカルや演劇作品について
第6回	シリーズ化される作品の表現やプロダクションについて①
第7回	シリーズ化される作品の表現やプロダクションについて②
第8回	世界で評価されるクリエイターの表現やプロダクションについて①
第9回	世界で評価されるクリエイターの表現やプロダクションについて②
第10回	世界で評価されるクリエイターの表現やプロダクションについて③
第11回	広告などのグラフィック作品や歴史について
第12回	アニメーション映画史で評価されるクリエイターの表現とプロダクションについて①
第13回	アニメーション映画史で評価されるクリエイターの表現とプロダクションについて②
第14回	アートアニメーション作品や歴史について
第15回	実際に現場で活躍しているクリエイターから作品や表現に関する講義を実施する